

# 図書室だより vol.129

中央大学高校図書室

## 教育実習生のお二人におすすめの本を紹介していただきました。

石黒達也 先生 (物理基礎)

『勝ち続ける意志力』

梅原大吾 著 小学館101新書

「心だって、鍛えなければ強くない。」  
『背水の逆転劇』などの動画で知られる、プログラマーウメハラの自伝的著書。ゲームに対する世間の目が厳しかった時代、幼いころからずっと格闘ゲームに打ち込んで数々の凄まじい戦績を収めてきた著者が、最終的にプログラマーとして世に認められるまでの過程が描かれている。葛藤、孤独、挫折に満ちているその過程はどこか思春期における気持ちと重なるものがあるため、きっと共感できるエピソードを見つけることができるだろう。

奥田隆太 先生 (日本史)

『こうして、思考は現実になる』

パム・グラウト 著 サンマーク出版

みなさん、人生はなるようにしかならないと思いませんか？自分がどんなに頑張ってもダメな時はダメだ、と思いませんか？僕も昔はそう思っていました。しかし、この本を読んでそんな考えは変わりました。内容はタイトルの通りで、どのようなプロセスで自分の思考が現実へと変化するのが実体験などもふまえて書かれています。みなさん様々な目標であったり夢があることでしょう。そんな人たちに読んで欲しい一冊です。



### ☆図書室にある雑誌を紹介します☆

セブンティーン、ノンノ、ストリートジャック、ファイブボーイズ、ダ・ヴィンチ、オレンジページ、日経エンターテインメント、HR（エイチアール）、ニュートン、大学への数学、月刊ニュースがわかる、切抜き速報社会版

▶最新号は図書室内でのみ閲覧。バックナンバーは貸出可。

▶保存期間が過ぎた雑誌は随時持ち帰り可。付録も月の最初の開室日にプレゼント。

### ☆図書委員からのオススメ☆

『ペテロの葬列』上・下 宮部みゆき 著 文春文庫 B913-ミ-3~4

私がおすすめしたい本は、宮部みゆきさんの『ペテロの葬列』（上・下）です。

この本は、主人公の杉村がバスジャック事件に遭うところから始まります。犯人の老人は、巧みな話術で人質となった乗客を動かし、警察にある要求をします。

その後、警察の突入により終わったかのように思えた事件は、

被害者に届いた多額の慰謝料によってまた動き出します。

犯人はなぜ事件を起こしたのか、

どのように慰謝料を届けたのか、また被害者は慰謝料を使うのかなど、

どんどん続きが読みたくなる内容でした。

さらに、登場人物たちの過去など事件のこと以外にも気になる点は多いので、

たくさん楽しめると思います。

ドラマ化している本で、普段本を読まない人でも読みやすいと思うので、

ぜひ読んでみてください！

2年 女子図書委員